

1. 基本理念

安心して

地域で自立した生活を継続できる

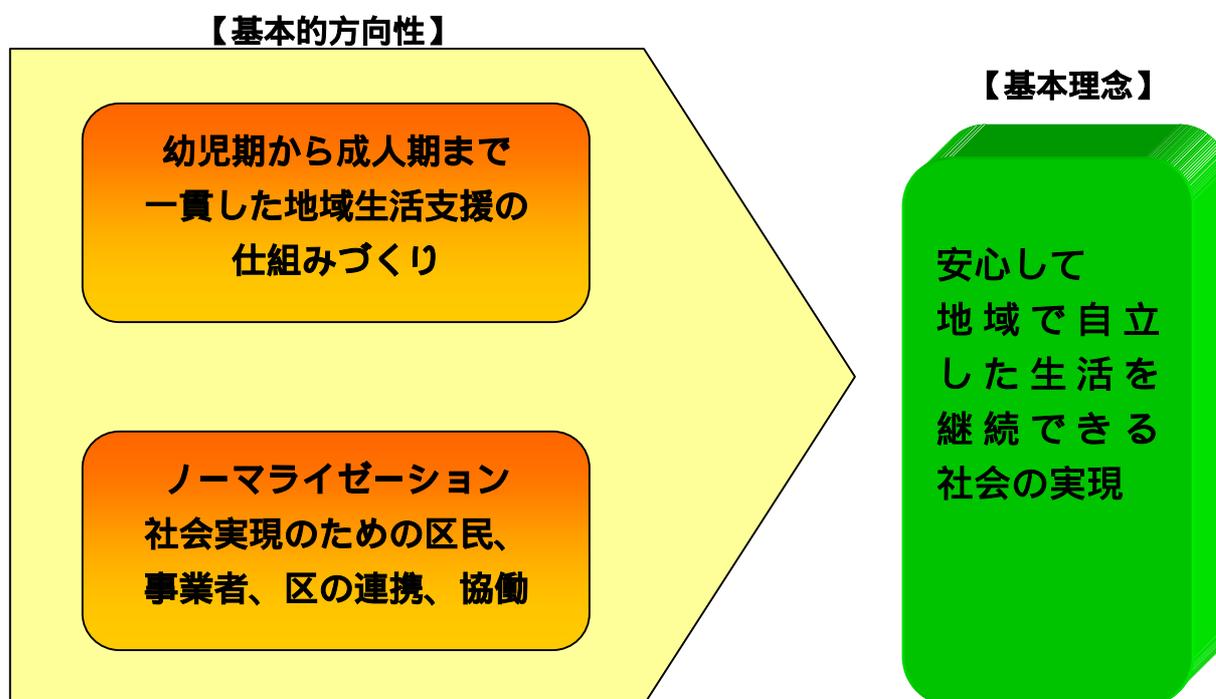
社会の実現

「安心」とは、「世田谷区基本計画」における将来目標のキーワードにもなっており、将来にわたって地域生活を継続していく上で、最も必要とされる。とりわけ障害者（児）にとっては、平時、災害時を問わず、生活の全局面で求められる。

「地域」とは、ここでは、私たちの住み慣れたまち・世田谷である。このまちこそが私たちの生活の場であって、障害の有無に関わらず、このまちで家族、親しい仲間、パートナーと暮らしていける基盤が築かれなくてはならない。それこそがノーマライゼーション社会の実現にほかならない。

「自立」とは、その人らしく、かけがえのない人生を送っていくことである。誰もが人生の主人公であって、その人生のシナリオを自由に描いていく姿こそ人間の尊厳がある。

2 . 基本的方向性



障害者（児）施策は、ひとりの障害者（児）を中心に、その成長や発達に応じて、生涯にわたる一貫した総合的支援を実施していくため、当事者の視点にたったの施策を構築する必要がある。

障害の問題は一部の人の問題ではなく、すべての人に起こり得る普遍的な問題である。ノーマライゼーション社会を実現していくためには、区民全体が、障害の問題を自分自身の問題として認識し、主体的かつ積極的に障害者（児）施策の推進に参加していくことが求められる。区主導の施策推進ではなく、区民、事業者、との連携、協働による仕組みを構築する中で、ノーマライゼーション社会を実現していくことが必要である。その仕組みづくりにあたっては、区は積極的な役割を果たしていく。